



発行年月日
令和6年5月1日発行
発行所
長野県野沢南高同窓会
長野県佐久市原86-1
TEL (0267) 63-6646
責任者 長田 芳子
印刷所 ㈱佐久印刷所

一年を振り返って



同窓会長
長田 芳子
(高29)

令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が、5類に移行され、それまでの不自由な生活から大きく変化する一年間でした。その間、同窓会活動も徐々に外に赴く事が出来、大阪での関西鈴蘭会、東京支部総会にも出席させて頂き、遠方にいらしても母校

ご挨拶



校長
中村 信秋

同窓会の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より本校の教育活動に對しまして、物心両面にわたり心温まる御支援を賜り、心より感謝申し上げます。令和6年は、元日より能登半島地

に寄せる温かい想いやお仲間の強い繋がりを感じる事が出来ました。又、佐久近辺の支部においても、支部の皆様のご協力の元地区総会等開催して頂き、参加致しました。支部内の結束力を感じ、心揺さぶられました。同窓生の皆様には、衷心より感謝申し上げます。

「順境にて友を見つけるはたやすく、逆境にては極めて難し。」との言葉があるように現在野沢南高同窓会は、再編統合に向けて順調であるはずが、逆境に立たされていきます。(詳細につきましては、佐久新校進捗状況にて記載致します。)佐久地域の小・中学生が佐久新校で新しい学びに取組み、将来に亘って

震という大きな災害に見舞われてスタートしました。いまだ復興へは道半ばであり、被災された方々の御苦労を考えると、言葉もありません。月並みですが、被災された方々が一日も早く普通の生活に戻れることを心よりお祈り申し上げます。

さて、本校は今年で全日制113年目・定時制73年目を迎えます。昨年度は、本校生の主に課外活動での活躍が目立ちました。ポデビル全国高校選手権で全国制覇、軽音楽部が長野県大会で準優勝しての全国大会出場、陸上個人で中距離種目において全国大会出場など、野沢南高校の名を全国に轟かせてくれました。今年も多くの部活動や生徒会活動の活

「自ら学び続ける力」が養われるような魅力溢れる高校作りに参画できる喜びをワクワクする様な思いで感じていたのですが、現実には困難が多く、苦慮する事ばかりです。こどもたち、生徒の為にと原点に立返り、何が必要なのかを深く考え、様々な場面で主張していきたくと考えております。理想と現実の狭間で、この状況に立ち向かっていかなければと強く思う日々です。是非、多くの同窓生の皆様のお力添え、後方支援を頂き、逆境での友になることができ、連帯感を持ちながら活動していければと考えます。今後とも、ご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

躍を期待しています。東日本大震災からの復興途上の時にも感じた、日本人の苦難に負けない強い心と、お互いを助けあう優しい心は、世界に誇れるメンタリティーであると言えます。災害の度に、日本人はこの二つの「心」で難局を乗り越えてきました。本校の生徒にも、困難に対して負けない気持ちと、苦しいときにはお互い助け合う優しい心を持って、日々の学校生活を送ってほしいものです。

最後に、同窓生の皆様の益々の活躍と御健勝を祈念申し上げます。同窓会のご健勝を祈念申し上げます。同窓会のご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

着任のご挨拶

定時制教頭 清水 徹

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また日頃より本校の教育活動に際しまして心温まるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度4月より野沢南高校定時制の教頭として着任いたしました清水徹と申します。同窓会の皆様にはこれからお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願致します。

私の出身は上小なのですが長野県の教員になって2校目から現在までずっと佐久に住んでおり、もうすぐ佐久に住んでいる期間のほうが長くなります。この期間、佐久に住んでいる方々の優しさや温かさに触れ、とても居心地の良い時間を過ごさせていただいています。また4月から本校に勤務させていただくことになり、とてもうれしく思っています。伝統ある野沢南高校の教育活動に携われる喜びを感じているところで、何分不慣れではありますが、至らない所が多々ありますがご指導いただければと思います。

最後に同窓会の皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。同窓会のご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



「かえり道」ノザワヒロミチ(高35)

総会報告

○日時：令和5年6月10日(土)
13時30分～18時

○場所：佐久一萬里温泉ホテル

新型コロナウイルスの感染症分類が5類へ移行されたことに加え今年度役員の改選が行われての総会となった。会場には在校生の書道部パフォーマンス作品や美術部の作品が展示され総会に彩りが添えられた。

長田芳子新会長より、これまで同窓会活動に多大なご尽力をいただいた中島瑞枝前会長をはじめ旧役員の皆様への感謝が述べられ、直近の課題である佐久新校の創設に向け新役員体制で一致団結し取り組む決意が表明された。中村信秋学校長より、生徒がのびのびと

令和5年度長野県野沢南高等学校同窓会決算書(見込)

令和6年3月25日現在

1. 総括		
収入決算額	5,183,070円	
支出決算額	4,304,407円	
差引残額	878,663円	(残額は次年度へ繰越します)

2. 収入		(単位：円)
項目	5年度決算見込額	備考
入会金	2,391,668	全日制1年 @12,000×196人 定時制1年 @3,000×13人他
会費	19,500	定時制2年 @3,000×6.5人
特別会費	51,000	定時制3年 @3,000×10人 4年 @3,000×7人
繰入金	1,810,000	同窓会協力金より
雑収入	30,132	利息
繰越金	880,770	令和4年度より
合計	5,183,070	

3. 支出		
項目	5年度決算見込額	備考
総会費	165,418	総会諸費用
役員会費	94,110	役員会費用
計	259,528	
交際費	125,000	鈴蘭祭祝儀・支部総会祝儀 転退職者御饗別
事務費	232,361	事務用品・写真代・消耗品
通信費	75,015	郵送料・電話料
旅費	294,460	理事・支部長会交通費
報酬費	448,646	役員・事務職員報酬
管理経費	11,857	同窓会室使用料・光熱費
計	1,187,339	
会報費	2,430,983	会報発行諸費用
記念品費	79,602	卒業証書ホルダー
文化的事業費	3,285	地域探訪
計	2,513,870	
生徒クラブ活動費	40,000	
整備充実費	11,670	校舎・設備整備
定時制振興会補助	42,000	定時制振興会補助
発展させる会補助	70,000	発展させる会補助
鈴蘭アカデミー補助	50,000	鈴蘭アカデミー
生徒会補助	0	
計	213,670	
特別会計積立金	0	
定時制振興費積立金	30,000	定時制(北信越大会用)
計	30,000	
予備費	100,000	二校連絡会
合計	4,304,407	

学校生活を送り、さまざまな方面で活躍している様子が紹介された。須田幸枝理事、森泉きよ江理事の議長の下全ての協議事項が承認された。昨年度末で退任された役員の紹介の後、中島名誉会長より15年間の永きにわたり同窓会を牽引して来られた様々な想いが語られた。同窓会専用の事務局を立ち上げたことや地域探訪・発展させる会・統合新校づくり等、学校との密な連携のもと多様な方々が集う企画を立ち上げて来られた。110周年70周年の記念事業においては、野沢南高校らしい温かい華やかな式典だったと好評を頂いたことなど様々な場面で多くのご苦労がある中、勇気と決断を持って進めてこられた歴史を実感した。



吹奏楽部の演奏

講演会では、消費生活センター行政推進支援員である太田真由美氏(高29)を講師としてお招きし「悪質業者はあなたを狙っている(トランプル)に巻き込まれないために」をテーマにご講演いただいた。現代は誰でもがスマートフォンを持つ時代であり、訪問販売や電話勧誘に加えSNSを利用した悪質な手口も巧妙化している。違和感を覚えるような状況が生じたら、一人で悩まず早めに周囲に相談することが



講演会

何より大事であることを学んだ。生徒発表では、合唱同好会による発表と校歌を皆で合唱し、吹奏楽部によるテンプのよい演奏をお聴きし元気をいただいた。懇親会では、久しぶりの会食とともに和やかな歓談の時間が設けられた。(村松さつき)

野沢地区のつどい

9月2日(土)野沢会館にて
佐々木 和子(高23)

昨年はコロナ禍で中止。今年こそ親睦をはかり楽しんでいただきたいという願いが叶い残暑残る9月2日(土)開催することが出来ました。

新会長により新校統合の進捗状況報告から始まり、長年ご尽力いただいた中島前会長の挨拶の後、本校31回卒の宮沢秋三さんとその仲間の宮沢千広さん、加藤聖さんのバンドグループ「ボタンナイナイズ」をお迎えし、巧みなトークと共に、懐かしい曲、心に染みる歌に人生の織りなす苦楽を思い出しながら、首肯いたり笑ったり涙したりしながら楽しむ一時となりました。



ボタンナイナイズの演奏

後の懇親茶話会は庭に咲く花々で飾られたテーブルを囲み、学生時代にタイムスリップした話題で盛り上がる場面もあり、地区の集いならではの親睦を図る機会となりました。帰りの際「また来年も楽しみにしています。」「また来ますね。」「という言葉をいただき、役員一同開催できた喜びと、来年の集いへの士気を高めることが出来ました。コロナ禍で制約が多い中、ご出席いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

令和6年度
支部総会の予定

- 野沢地区 9月7日(土)
- 中込支部座禅会 10月10日(木) 種月院
- 岩村田支部 11月頃
- 上田支部 5月31日(金)
- 関西支部 5月25日(土)

※他地区は現在未定です。

佐久新校(仮称) 5年度の進捗状況

長野県教育委員会高校教育課高校再編推進室が主体となって、地域から選出された構成員及び両校関係者による「佐久新校再編実施計画懇話会」が吉岡佐久教育長を座長に令和6年3月までに19回開催、懇話会に催され、校地は野沢北に決定しました。(経過は会報71号)この間、懇話会、校地検討部会に出席され続けた中島名誉会長のご苦勞は言葉に尽くせぬものと拝察致します。

JR佐久平駅や中込駅と学校を結ぶ道路交通アクセスの充実を期待します。

三、校舎を全面改築すること

野沢北高校の校舎は著しい老朽化がみられます。長野県の「県立学校学習空間デザイン検討委員会」の案に沿った最新の教育環境を整備し、夢のある学びの場を創出するよう働きかけてください。8月10日に、県庁で柳田会長から内堀繁利県教育長に手渡され、会長からは佐久の高い教育力を象徴する新校舎の建設が切望される旨、強く主張されました。

要望書提出後、9月にはプロポーザル方式での建築設計者六者によるプレゼンテーションが行われ、最適候補者が決定しました。「県立学校学習空間デザイン検討委員会」(NSD)とは、長野県の生徒にとって何が学びに必要か。基本計画から事業者に関わりを持って頂く。皆が同じ方向に向かって築あげていく等、法政大学教授、赤松佳珠子委員長の評価の際のお言葉でした。12月上旬、設計図が公表され「発展させる会」において、設計事務所の方々から模型図を示して頂き説明を受ける機会に恵まれました。具体的なイメージを生徒、職員等参加者全員が持つ事ができました。しかし、その設計図では、生徒の通学路と車の動線が重なり、通学の安全性が確保されていない事、駐車場の少なすぎない事、全面新築ではない事、など要望書への回答もいまま進められており、協議会で次の2項目の提

一、校地を拡幅すること
現在の野沢北高校の校地は、全日制学年8学級、定時制1学級規模で新しい学びを展開する上で十分とは言えず、駐車場も狭隘です。
二、通学の利便性、安全性を確保すること



佐久新校創設推進協議会

案を県教委に届ける事になりました。統合後の野沢南高校校地、校舎に関する提案です。

一、野沢南高校の校地、校舎について、有効利用が図られるよう協議会として考えていきたい。

二、有効利用を考えるにあたっては、地元区長会や住民の意向・要望に十分配慮し協議会として合意形成を図っていく。

2月1日、県知事宛の提案書を8月と同様、県教育長に手渡ししました。その際、8月の要望書に盛り込んだ統合後の生徒数増に対応する為の野沢北高校校地拡幅等に言及しました。県教委からは、今後も検討していくとの回答がありました。今後は、建築設計事業者が開催するワークショップ(参加者の主体性を重視した体験型講座)が生徒、学校職員、地域住民対象に分かれ、複数回実施されます。このような、意見交換の場を活かしつつ、「重要3項目」の実現を目指して活動していきます。同窓生の皆様には、歴史と伝統を継承してきたこの野沢南高校の為に、お知恵とご支援を頂きたくお願い申し上げます。

令和5年度

野沢南高校を発展させる会

～統合新校について語り合う～

○理事会・総会(懇話会) 98名出席
日時 12月2日(日)8時45分～
会場 野沢南高等学校
(1)理事会 8時45分～9時
(2)開会行事 9時15分～9時45分
(3)懇話会 10時～12時30分

コロナ禍のため取り止めていた恒例の行事を2年ぶりに開催した。開会行事にて新校建築設計事務所共同体のSALHAUS・ガド建築設計事務所の方々より新校のデザインが紹介され、その後の懇話会を盛り上げた。

【開会行事】(主催者挨拶、柳田市長・花岡県議会議長祝辞、来賓紹介)

柳田市長は伝統を守ってきた2つの学校が統合するため「佐久新校創設推進協議会」を発足し、①生徒と教職員の快適性を高める。②安全性の確保 ③生徒の意欲向上のための工夫 3つの軸等を祝辞で述べられました。

【懇話会】(柳田市長、県議、佐久市議、地域の方々、生徒・教職員、PTA、同窓生)

今回の懇話会は学校側のご協力のもと、配信を利用して実施した。参加者が混合でグループを10クラス作り、各教室にて懇話会を行い、最後に全体会にて生徒がリモートで発表する形式をとった。

【講師】(中村学校長)

新校のモデルやパネルを見て具体的なイメージを持ちながら活発な議論ができた。生徒の皆さんも大人になって自分の子どもを学ばせたい学校にするために、今後も新校建設の議論に参加して欲しい。大原則を重んじ原点に立ち返りながら野沢南高校をどうしていくかを考えていきたい。

今回「野沢南高校を発展させる会」に初めて参加しました。

開会のごとばにつき、同窓会長、学校長、来賓の方々のあいさつや自己紹介、生徒の活動紹介の後、統合新校整備設計業者であるSALHAUS・ガド建築設計事務所の方達による説明がありました。その後懇話会となり、グループごとの討議となりました。

統合新校に希望することとして

①校舎 ②施設設備や学習空間 ③通学の安全性 ④何を学びたいか ⑤卓越した進学校の特色 ⑥その他 これらをテーマに、まず各自それぞれの考えを書き出しました。そしてグループごとに、各自書き出したものをまとめ、グループごとに生徒が発表する全体会となりました。

今回の発展させる会に参加して、このように色々な立場の方々と意見を交わす場があるという事は、とても良いと感じました。また、生徒達が、とても真面目に取り組み姿、力強く発表する姿、裏方として黙々と作業する姿を間近で見ることができ、とても感心致しました。新校でも、このような生徒達がいる学校が想像でき、とても良い会だったと思

いました。

「野沢南高校を
発展させる会」に参加して

佐藤 敏江(高40)

令和5年度 同窓会主な活動

4月22日(土) 同窓会館

- 理事・支部長合同会議①(55名)
- (1)事業計画・予算案・総会について
- (2)新校について
- (3)グループ討議
- (4)ペヒシユタインピアノ演奏(研修①)
- 柳沢弘美(高30) 西沢さち子(高41)

5月1日(金)

- 第71号同窓会会報発行
- 5月13日(土) (ホテルグランピア大坂)
- 関西支部総会(6名)
- (岳南会・関西鈴蘭会共催)
- ・講演 「北国の春」 誕生秘話
- 講師 いではく氏
- (作者・野沢北卒業生)

6月10日(土) (佐久一萬里ホテル)

- 同窓会総会
- (1)総会行事(10名)
- (2)講演(研修②)
- ・悪質業者はあなたを狙っている
- 「トラブルに巻き込まれないために」
- 講師 太田真由美氏(高29)
- (3)生徒発表
- ・合唱同好会
- ・吹奏楽部演奏
- ・美術部作品(5点)
- ・書道部のパフォーマンス作品
- (4)懇親会(54名)

7月1日(土)〜2日(日) (野沢南高校)

- 第74回鈴蘭祭
- ― 繫心 ―
- ・力を合わせて殻をぶち破れ
- ・「同窓会コーナー」への出品(20名)
- ・同窓会展アンケート(統合新校実施)
- (回答40名)

8月24日(木) 同窓会館

- 南高を発展させる会常任理事会①
- (1)令和4年度活動・決算・監査報告
- (2)令和5年度事業計画・予算について
- (3)新校について

9月2日(土) 同窓会館

- 野沢地区のつどい(34名)
- ・ポタンナイナイズ演奏

9月27日(木)

- 第9回地域探訪(研修③)(38名)
- 室町から令和まで「古と今」を訪ねて
- ・佐久平クリーンセンター
- ・信州最古の温泉宿佐久ホテル
- 理事・支部長合同会議②(35名)
- (1)令和5年度総会の反省
- (2)新校について
- (3)講演(研修④)
- ・「空港のものがたり」
- ・ピンチからの離着陸
- 講師 井出恵理子氏(高29)

10月19日(木) (種月院)

○中込地区座禅会(10名)

11月6日(月) 同窓会館

- 南高を発展させる会常任理事会②
- (1)理事会・総会(懇話会)
- (2)新校について

11月12日(日) (佐久東会館)

- 第8回岩村田地区のつどい(120名)
- ・講演 「私の家族と私の仕事」
- ・宇宙飛行士の弟を持って
- 講師 関口夏美氏(高33)
- ・新体操演技発表
- 講師 山浦真由美氏(高33)



鈴蘭祭「同窓会コーナー」



井出恵理子氏



地域探訪「佐久平クリーンセンター」



関口夏美氏



岩村田地区のつどい
新体操指導者 山浦真由美氏

12月2日(土) 野沢南高校教室

- 「発展させる会」理事会・総会(98名)
- (1)令和4年度活動報告
- (2)令和5年度活動計画
- (3)懇話会(グループ討議)
- 統合新校に希望すること
- ・こんな学校、あんな学校
- 「よこそ先輩」
- ・講師14名

2月16日(金) (生涯学習センター)

- 第3回理事会
- (1)令和5年度活動報告・令和6年度事業計画 並びに会計
- (2)同窓会報72号の発行予定について
- (3)令和6年度総会について
- (4)令和6年度研修について
- (5)「発展させる会」について
- (6)令和6年度役員について

2月19日(月) 同窓会館

- 発展させる会常任理事会③
- (1)令和5年度反省
- (2)令和6年度活動計画
- (3)新校について

第9回 地域探訪

室町から令和まで「古と今」を訪ねて

理事 小林 一代(高25)

今回の地域探訪は、現代の科学技術の粋を集めた施設と、室町時代創業の老舗ホテルを訪ね、お話を伺った。

まず年間約3万トンの可燃ゴミを処理できる佐久平クリーンセンターへ。2班に分かれて館内を見学し説明していただいた。環境保全に万全を期した施設で、ダイオキシン等の発生を抑制する排ガス対策や、有害物質を分解除去する設備、焼却で発生した熱による発電など、驚かされることばかりだった。施設の見学や学習設備で、小学生も訪れている。子供の時から環境問題について考える機会が持てることは、とても良いことと感じた。

次に岩村田の佐久ホテルへ移動し、19代篠澤社長からホテルの歴史について、お話を伺った。創業は1428年(室町時代)、武田信玄や岩村田藩主が入浴した記録や数々の文献が残されている。現在の建物は昭和60年に再建されたとのことだが、逗留した文豪の名が各部屋に付けられ、歴史の深さを感じさせられた。佐久ホテルが発祥との佐久鯉のお料理を、昼食にいただきながら、令和の今と長い歴史について、考える機会を持って、良かったと話が弾みました。



佐久ホテル玄関



ありがとう

荻原 まさ子(高27)

高校を卒業してからももう50年が過ぎようとしています。この50年、世の中の変動は激しいものでした。特に情報のスピードの速さは高校時代から一変して、今では一瞬で映像とともに、世界を駆け巡ってしまいます。変わりがなく情報世界の中、自分で何を信じ、どう生活していけば良いのか考えることもありました。高校卒業後、進学、就職、結婚、子育て、自営業の手伝いと、日々の生活に追われる中、一日一日が精一杯だったと思います。しかし、ある新聞の投稿欄に目が止まりました。「一日一回で良いのでありがとう・感謝の気持ちを持つ」と言うものでした。それを読みハッとしました。今までは何事にもああ大変だ、他の人が羨ましいと心のどこかで考えていましたが、自分の気持ち一つで生活が楽しくなりました。例えば、寒くなり川に白鳥が越冬して来ました。今年も来てくれてありがとう。外に出て空に虹が架かっています。久しぶりに虹を見られた。ありがとうと言うように、些細なことですが気持ちの持ちようで一日が楽しくなってきました。新聞に投稿された方とそれを見つけたことに感謝です。



ベヒシュタインピアノの連弾

戸惑いましたが、自分の「ありがとう」の気持ちを文章にできたことに感謝しています。

ベヒシュタインピアノ

柳沢 弘美(高30)

11年前の平成25年に修復された会議室(同窓会館)に常設されたベヒシュタインピアノは、大正14年創立15周年を記念して購入されたドイツ製のピアノで、来年100年を迎えます。世界三大メーカーの一つである同社製のピアノは、当時の日本には数台しかなかったそうで、そんな貴重なピアノが本校に在る事を在学中は知らず(練習室の古びたピアノ?)知った時は驚きと共に当時の先生の教育に対する意識の高さを感じました。

オーバーホールで甦ったピアノは、本校卒業生で世界最高峰の音楽家である白井光子氏とピアノニストのハルトムート・ヘル氏による記念コンサートでお披露目され、お二人の奏でる歌声と音色に魅了され、大変感銘を受けました。

同年の同窓会総会にはピアノリレー演奏会が行われ、何人もの方が演奏し、私もその中の一人として演奏させて頂きました。とても古いのにな華やかで暖かい音色で、楽しかった記憶があります。

学校の大変貴重な財産であるこのベヒシュタインピアノを、これから大切に弾き続けて、受け継いで行かれる事を願っています。

タオルからバンドナへ

小松 裕太(高60)

先日、高校時代の友人達と数年前に再会し、30代半ばのそれぞれの成長について話し合った。仕事や結婚、健康の秘訣についての話は、まるで昨日も教室で話していたかのような懐かしさを感じさせた。特に印象深かったのは、それぞれの職業選択のきっかけについての話。その中で、両親や恩師はもろんだが、高校時代のバスケットマネージャー、山口さんへの感謝の気持ちを思い出した。私もバスケット部に所属していた縁もあり、文化祭の役員も兼任している彼女の要請で文化祭用タオルのデザインを手掛ける事になった。

最初は渋々だったが、文化祭当日に自分のデザインしたタオルをみんなが身につけている光景は今尚忘れない。あの時の喜びが、美大への道を開き、南高全日制100周年・定時制60周年の記念バンドナのデザインに繋がった。この場を借りて、山口さんに深い感謝を表したい。高校時代の小さな一歩が、人生に大きな影響を与え、未来への架け橋となった。その全てに心からの感謝を。

色づけられた学校生活

佐々木 心(定68)

「ピンクの校舎でバラ色の青春を送ってください。」
数十年前当時の南校生徒会長が新入生に贈った言葉だと聞いたことがありますが。今は色褪せていますが、建設された昭和40年代は鮮やかな、まさに女子校の校舎だったのでしょうか。

私が高校生活を過ごしたピンク色の校舎でバラ色の青春だったかという、バラ色とまではいかなかったけれど人生の一部に色んな色を添えてくれた校舎での高校生活でした。



生徒会が文化祭で私の所属する茶道部の発表の場を与えてくれました。猛暑の中、畳を体育館へ運び、練習した日々は「抹茶色」定時制文化祭作品、階段アートは「虹色」定時制に通った教室は照明の「オレンジ色」厳しくも温かく見守り、指導して下さった先生方は「熱血の赤色」一緒に過ごした仲間個性一杯の「マールブル」、人生の中で高校生活は短いけれど私がいく人生への道しるべになりました。

インタビュー

私のバレーボール人生

羽毛田 文子(高5)

Q バレーボールとの出会い
入学して間もなく体育のバレーの授業で、私のパスを見てバレー顧問だった先生にスカウトされた。思いがけない出会いでバレー人生がスタートした。

Q 高校時代のバレー部の思い出
当時の思い出は、石拾いなど校庭整備、炎天下での猛練習、夏休みの校舎の自炊合宿等苦しかった事も、今は懐かしく楽しい思い出になっている。忘れられないのは高校2年時の広島国体のベンチ入り。

Q 高校卒業後のバレーボール
金融機関に就職、地域の青年団でプレー。職場結婚して退職、その後主人と二人で起業し現在の仕事を始めた。子育てしながら地域のママさんバレーチームで家族の協力のもと奮闘した。

Q ママさんバレー 佐久支部創立
全国ママ大会へ出場した際、初めて女性審判団に直面し、とても凛々しい姿に憧れ感動した。自分も審判員になろうと、仲間と東京まで通って審判員の資格を取り、後進指導と大会運営を行う佐久支部創立を仲間と共に成し遂げた。プレーヤとして、全国ママ、全国いそじ(50歳以上)、全国ことぶき(60歳以上)に出場し、現在も現役選手としてプレーを仲間と楽しんでいる。

Q 健康の秘訣
大したことはないが、若いころから入浴時と就寝前には毎日必ず決まったストレッチをしている。

◆ 89歳 凛々しい審判員のお姿が目に浮かぶほど、はつらつとしてお元気な先輩へのインタビューでした。



令和5年度

学校だより

令和5年を振り返って

全日制教頭 橋爪 俊彦

コロナに振り回されていた学校現場も5類感染症への移行をうけて、ようやく以前の教育活動を取り戻せるようになりました。その中で際立っていたのが、生徒たちの活躍です。

陸上、ソフトボール、女子ソフトテニス、卓球部の北信越大会への進出、個人での出場ではありましたがボクシングや水泳でも北信越大会に駒を進める生徒がいました。とりわけ陸上部の小須田翔さん(高2)は男子300m競技でJOCジュニアオリンピックU18陸上競技大会に出場、片井蓮仁さん(高3)は全国高校生男子ボディビル選手権大会において170センチ以下の部とオーバーオールで優勝をさらし日本一の座に輝きました。また、文化部でも軽音楽部が全国高等学校軽音楽コンテストに出場し華麗な演奏を披露しました。

12月に開催された野沢南高校を発展させる会においても、佐久新校に思いを寄せる生徒たちの活発な意見を聞くことができた、と同窓生の方々からのお声を聞くことができました。令和6年度は、更なる生徒たちの活躍が期待できるものと思われまます。

定時制より

定時制教頭 倉坪 知之

午後3時40分、いつものように一番早く登校する生徒が校門を通過します。二番目の生徒は自転車であったり、車での送迎であったりと、日によって異なります。5時を過ぎると、バイト上がりの生徒が続々に登校してきます。安定して授業開始5分前にやってくる集団もいます。特別何かをするわけではありませんが、毎日生徒一人一人と挨拶を交わし、教室に送り出します。くだいようですが、何か特別なやりとりをするわけはありません。

「ゆつくりと自分のペースで学ぶこと」を掲げている定時制ですが、毎日の登校が当たり前という生徒がいる一方で、なかなか学校に足が向かない生徒もいます。各々が自分の生活スタイルを模索しながら、「定時制での学び」に取り組んでいるのです。そんな生徒たちにとって、登校時のいつもの光景が、何かの役に立ってくれたらと考えています。

最後になりましたが、生徒にとって、日々の学習活動が快適かつ充実したものになっているのも同窓会の皆様のお力添えがあつたことです。今後も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



合唱コンクール

令和5年度卒業生の進路状況

進路指導係 市川 尚智

3年生の進路実績は後掲の通りです。令和4年度卒業生と比べると、年内入試での合格が急増しています。総合型選抜・指定校推薦を受験する生徒が増えた点が原因ですが、今後もこの傾向は続くと思われまます。また今年度も本校生の看護医療系志望は強く、大学・専門学校共に多くの合格者を出しており、佐久地区の医療に貢献していると思われまます。いずれにしても確かな学力とコミュニケーション力をつける事が課題となっています。

主な合格先

()は過年度生で内数
【大学】(国公) 山形大(一) 【私

立) 亜細亜大(一)・日本大(一)・愛知学院大・育英大・浦和大・関東学院大9・玉川大・金沢工大・群馬パース大4・高崎健康福祉大3・国際医療福祉大4・国士館大2・佐久大8・山梨学院大2・松本大・城西大4・千葉工業大4(一)・専修大・大妻女子大・大東文化大4・拓殖大・長野保健医療大4・帝京大3・東海大2(一)・東京女子体育大・東京電機大2・奈良大・明治学院大・独協大他

【短大】(公立) 長野県工科短大4(一)・大月短大(私立) 上田女子短大2・佐久大信州短大2・他

【専門学校】(公立) 横浜労災病院看護・小諸看護・佐久総合病院看護5・中央工学校・群馬日建・群馬ビューティモード2他
【就職】ホクト(株)・榊山工業(株)・アーデン(株)・タイセイ(株)・県警2・他

クラブ活動の記録

北信越高等学校総合体育大会出場
○陸上部(走り幅跳び、ハンマー投げ、やり投げ、2000m、4000m、男子リレー)
○女子ソフトテニス部

長野県高等学校総合体育大会
県大会出場

- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 陸上部
- 新体操部
- ソフトボール部
- 剣道部
- 男子ソフトテニス部
- 女子ソフトテニス部
- 男子卓球部
- 女子

卓球部 ○男子サッカー部
北信越高等学校新人大会出場
○陸上部(4000m、3000m)
○ソフトボール部 ○卓球部

長野県高等学校新人体育大会
県大会出場

○女子バスケットボール部
○陸上部 ○ソフトボール部
○男子ハンドボール部 ○女子ハンドボール部
○女子バドミントン部 ○剣道部 ○男子ソフトテニス部 ○女子ソフトテニス部
○弓道部 ○男子サッカー部

長野県高等学校美術展

○美術部

長野県吹奏楽フェスティバル

○吹奏楽部

長野県定時制通信制体育大会

県大会出場

○バドミントン部

●軽音楽部 県大会準優勝 全国大会出場(ねむり海月)

●小須田翔さん 北信越高校総体400m準決勝進出・県高校新人400m優勝・OCジュニア

オリンピックカップ第17回U18陸上競技大会出場

●片井蓮仁さん 第18回全国高校生男子ボディビル選手権170センチ以下級優勝



片井蓮仁さん

ともに

全日制生徒会長 佐藤 佳乃(3年)

私は、生徒が興味を持てる・身近に感じられる・青春を謳歌できる生徒会にしていきたいと考えています。それを踏まえて、新生徒会のスローガンは「ともに」です。スローガンには多種多様な考えを受け入れ、全校が協力し合い一緒に進んでいこうという願いが込められています。

2023年度の生徒会行事は、リモートを使用し、感染対策を工夫し、コロナ前に近づけました。2024年度の行事は、コロナ前に戻せるように最大限に努力と工夫をし、柔軟に対応していきたいと考えています。

また、佐久新校再編計画懇話会や野沢南高校を発展させる会などでは、様々な立場の方と交流ができる貴重な機会なので、生徒代表として積極的に意見を出し、野沢南高校の良き伝統を継承していきけるようにしたいと思っています。また、生徒会活動も生徒の意見を積極的に取り入れる為の工夫を凝らし、進めていきたいと思っています。生徒会長としてまだまだ未熟な部分も多々あると思いますが、1年間よろしくお願ひします。

温故知新

定時制生徒会長 龍澤 菜々美(4年)

令和5年度の文化祭では、例年通り定時制生徒で運営する「て〜

じ喫茶」を行うことが出来ました。以前のような手作りの商品を売ることは、感染症や衛生面もあり実現できませんでしたが一つずつ復元できるように一生懸命努力していききたいと思っています。

また「て〜じ喫茶」に加え全校生徒が行うアートや美術部の展示物や書道で描く作品を考え、創造的な活動を通じて個々に自己表現を追求しています。

そして春・秋 年2回のクラスマッチや文化祭などのイベント活動を通して、団結力や主体性の重要さを学び、生徒全員が充実した学校生活を送れるよう目指していきたいと思っています。昨年度のスローガン「開花〜個々の花を満開に〜」のスローガンの下、各々の表現や個性の自由さがこのスローガンの意味をなしたと思っております。そして令和6年度のスローガン「温故知新」。昔の経験や教えていただいたことを大切に、そこから新しい表現や見解を見出す事を目標とし、スローガンとして掲げました。新しいことだけでなく、過去も大切に作る気持ちをお互いに協力しあい日々精進していきたいと思っています。

繋心く力をわけて殻をぶち破れ

(令和5年度鈴蘭祭実行委員長)

美齊津 凜乃

第74回鈴蘭祭のテーマは、「繋心(けいしん)く力をわけて殻をぶち破れ」でした。このテーマにした理由は、昨年度の鈴蘭祭は一

般公開はできませんでしたが、招待数にも限りがあり、完全にコロナ禍前に戻せたわけではありませんでした。

今年度は、地域の方や他校の生徒に来校いただき、また、3年生は食品を作って売ることもできました。コロナ禍での制限を殻と例えて、それを破っていくためこのテーマにしました。

実際、私たちは以前の鈴蘭祭を知らず、リモートでの開催式や合唱コンクール、学年別体育祭などで、全校が一斉に動くということの大変さを経験していませんでした。どう全校を動かしていくか、動かせるだろうかなどたくさん不安がありました。精一杯準備をしていきました。そして、6月30日待ちに待った鈴蘭祭が始まりました。一日目の全校企画、二日目の合唱コンクールと文化部発表会は成功に終わり、大緊張と不安で始まった一般公開でしたが、そんな緊張や不安が吹っ飛んでしまいうぐらい大勢の方が来校してください、三日間全て大成功に終わ

とても嬉しかったです。最後に鈴蘭祭運営に関わってくださった皆さん、ありがとうございました。

軽音楽部の活動

軽音楽部長 柳澤 優花(3年)

軽音楽部は学内で音楽に興味がある生徒が集まり色々な楽器を用いてバンド活動を楽しんでいます。

野沢南高校の軽音楽部は例年多くの大会に出場しています。昨年の大会では、東北信大会ベスト8、ベスト4、県大会ベスト16、準優勝、全国大会出場という成績を収めました。

部員たちは週に数回の練習で楽曲を磨き上げ、それぞれのバンドでメンバーと話し合っどうしたらもっと良い演奏になるのか、観客をどうしたら楽しませることが出来るのかを考えながら日々楽しく練習しています。このような練習を通じて、文化

キャリア教育 第19回「ようこそ先輩」講師

No	氏名	分野	卒回
1	井出 協子	福祉・幼児	高39
	山崎 詩音	福祉・幼児	高71
2	川島 萌愛	教育・幼児	高71
3	小林 美湖	経営・美容	高70
4	上原 大輔	経営・製造	高48
5	亀谷 佳奈	食・農業	高53
6	高橋 出	林業	高73
7	新津 清弥	建築	高67
8	井出 景子	医療	高51
9	山本 拳心	医療	高72
10	武藤衣里加	医療	高71
11	柴平 怜空	公務員	高73
12	青木 健	公務員	高63
13	佐藤 晃	公務員	高70
14	平岡 れん	教育	高71



第74回鈴蘭祭アーチ



鈴蘭祭でのライブ

祭、ライブハウス、また佐久平まるとキャンパスなどという高校生主催のイベントにも参加し、校外でも観客に音楽の魅力を伝えるが演奏しています。部員は個性溢れる人達が集まっています。互いに技術などを共有し、時にはライブルになるような良い関係です。これからも音楽を楽しみ沢山の方々への感謝の気持ちを忘れずに成長していきたいです。

